

地域おこし協力隊のふくしま散歩!

春の陽気に包まれて…

新年度から1ヶ月。皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年は雪解けも早く、気温もこの時期としては暖かく感じます。山々が芽吹き、好季節となってきました。

先月から横綱記念館・道の駅・青函トンネル記念館に無料のWi-Fiスポットが設置されました。1人1日15分間×2回の計30分間という時間的制限がありますが、非常に画期的なことだと思います。福島町は都市部と比べてやはり通信インフラがまだまだ整備されておらず、電話回線も3Gがほとんどです。その中で、町の主要箇所にWi-Fiが整備されたことは大きな強みに思えます。特に観光客にとっては大きなプラスとなります。中でも外国人観光客にとっては非常に利便性が向上することでしょう。周囲の観光情報を調べたり、その土地でのことを発信することが容易となります。



地域おこし協力隊
川端 教文

ここ数年、北海道では（海外からのという意味での）インバウンド受け入れに力を入れています。特に中国・台湾・韓国などのアジア圏からの北海道旅行者が年々増え続けています。福島町もインバウンド受け入れでの成功の可能性は十分あると思います。それはなぜか。一つは、やはり外国人にとっては相撲という文化は日本を象徴する代表的なものとして捉えられています。二つめは、当時世界最大の海底トンネルである青函トンネル。そこでの技術が世界へ広がったという歴史的事実。これらは外国人にとっても非常に興味をひくはずです。

そして、昨今はアジア圏の人が自分の自転車を北海道に持ち込み、道内をサイクリングしながら旅をするサイクル・ツーリズムが年々増加しております。そのサイクリングの目的は3つ。『景観・食・温泉』です。福島町はその3つともありますが、特に『景観と食』は素晴らしいものがあります。青森県が間近に望める岩部海岸。イカ・ウニ・クロマグロなどの新鮮な魚介類。千軒そば。これだけでも外国人・日本人問わず魅力的な素材です。うまく組み合わせれば、その海外からのサイクリング客などと呼んで満足してもらうことは十分可能だと考えます。

サイクリングは一つの観光振興の例ですが、それを切り口として国内外の観光客が福島町へ足を運んで頂けるよう、様々な企画を練っている最中です。環境負荷の少ない移動手段として注目されている自転車。今はそこから発展し、ゆっくりと地域を見て楽しむことができるツールの一つとなっています。

尚、自転車は軽車両です。走行は基本的に車道の左側であり、歩道を走行することは原則として違反（止む終えない場合以外）となります。皆さんもお乗りになる際は十分お気をつけ下さい。

皆さんも自転車に乗って、のんびりと春を感じませんか？



▲福島町の春の風景